

## 《経団連榊原会長が当発電所を視察されました》

7月8日、(一社)日本経済団体連合会の榊原定征会長をはじめ首脳陣が、当発電所を訪問されました。

当日は、現在海拔29mまでかさ上げ工事を進めている防潮堤のほか、3号機原子炉建屋内などを視察いただきました。

視察後、榊原会長からは「東日本大震災の時に、女川原子力発電所は、原子炉を極めて安全のうちに停止し感心した。それに加え、さらなる災害に備え補強工事を行っており、これ以上の安全措置はないのではないのかというくらい、安全に万全の体制をしいている印象を持った」などのコメントがありました。



## 《放射線出前講座を開催しました》

このたび、石巻市牡鹿地区の保育所の先生や父母27人を対象に、放射線出前講座を開催しました。

東北放射線科学センターの講師による講義に加え、測定器を使って実際に身のまわりにあるものの放射線量を計測する実験を行いました。

当日は、食物に関することなど、小さなお子さんを持つ親ならではの質問が出され、関心の高さがうかがわれました。



## 《新しい固体廃棄物貯蔵所が完成しました》

8月1日、増設工事を進めていた固体廃棄物貯蔵所\*が完成しました。

当発電所では、これまでも廃棄物の発生量低減に取り組むとともに、埋設可能な廃棄物については、一時的に発電所内の貯蔵所に保管し、定期的に日本原燃六ヶ所低レベル放射性廃棄物埋設センターへ搬出を行っています。しかしながら、これまでの発生量の実績から、平成26年度には、既設の貯蔵所の保管容量に達する見込みであったことから、平成24年7月より増設工事を行っていたものです。

今後とも、原子力発電所における適切な廃棄物管理および廃棄物低減対策に努めてまいります。



増設した固体廃棄物貯蔵所の外観(左)と内部

### ①既設の固体廃棄物貯蔵所

保管容量 約30,000本相当  
保管量 27,576本相当  
(平成26年6月末現在)  
(いずれも200ℓドラム缶)

### ②増設した固体廃棄物貯蔵所

保管容量 約25,000本相当  
(200ℓドラム缶)

\*発電所敷地内にあり、定期検査などで発生する布、紙、ゴム手袋などの廃棄物を詰めたドラム缶を保管する施設

## 《1号機の原子炉内の点検を開始しました》

1号機において、6月30日より原子炉の開放作業を開始し、原子炉压力容器内の点検を実施しております。また、使用済燃料プールに設置している燃料ラック\*の点検も実施しております。

引き続き、目視点検等によりしっかりと点検してまいります。

\*燃料を収納する棚



# 女川原子力PRセンターからのお知らせ

## 「第13回 東北電力図画コンクール」作品募集中! (8/31まで)

当発電所では、未来を担う子どもたちの「想像力」と「考える力」を育み、個性や才能を伸ばすお手伝いをしたいという思いから、毎年、小学生以下の皆さんを対象とした図画コンクールを開催しています。

昨年は過去最多の5030点もの作品をお寄せいただきました。  
今年も以下のとおり図画コンクールを開催いたしますので、たくさんのご応募をお待ちしております。

### テーマ 想像の海の生きものたち 「海にいたらいいな」と思う生き物を描こう!

- 【締切】 8月31日(日) ※PRセンター必着
- 【対象】 小学生以下の皆さん
- 【表彰】 最優秀賞/1名、優秀賞/7名、各審査委員特別賞/9名、奨励賞/20名  
※ご応募いただいた全員にオリジナル記念品を贈呈いたします。
- 【用紙】 A4 (210mm×297mm) の画用紙に描いてください。

### 注意事項 一人1作品の応募とし、未発表作品に限ります。

- ・ 絵の具、クレパス、色鉛筆、油彩、貼り絵などで描いてください。
- ・ 貝殻などの立体物を貼り付けたり、コピー、切り抜き、パソコンによる編集等の作品は選考対象外になります。
- ・ 応募された作品の著作権は、主催者に帰属するものとします。応募作品の返却はいたしません。

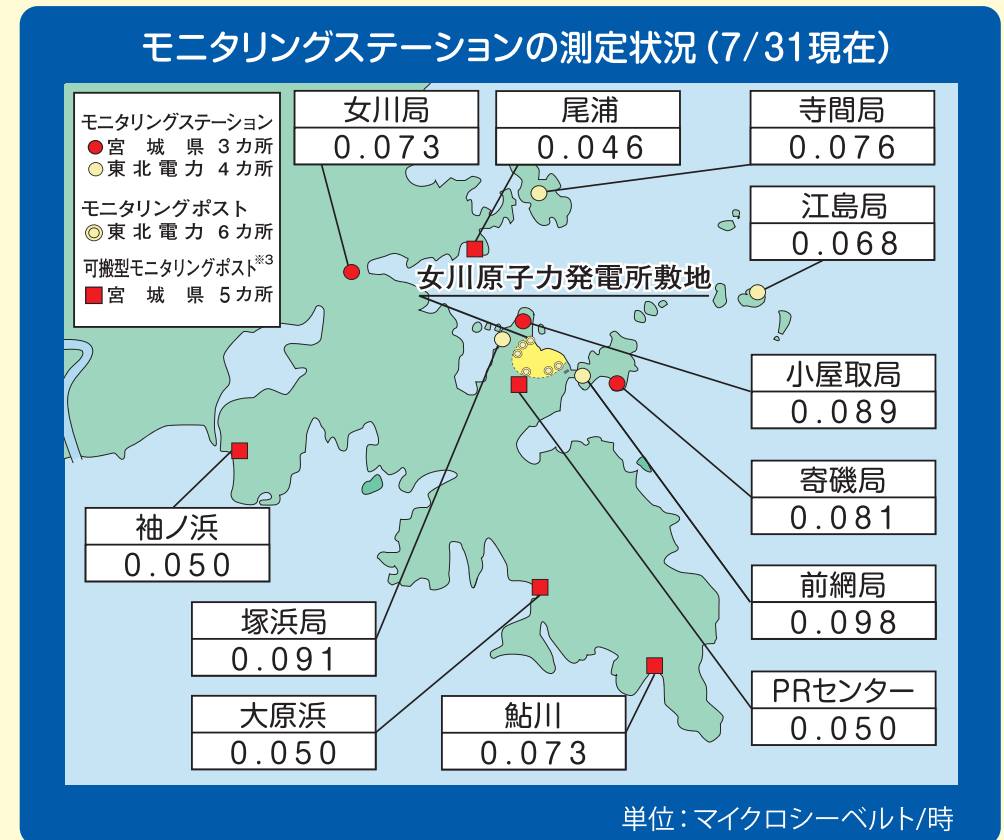
〒986-2221 牡鹿郡女川町塚浜字前田123  
女川原子力PRセンター内  
「東北電力図画コンクール」事務局  
TEL/0225-53-3410  
開館時間/9:30~16:30  
(8月18日(月)は休館)

応募・お問い合わせ先

## 《女川原子力発電所周辺の放射線量は安定しています》

女川原子力発電所周辺の放射線はモニタリングポスト※1やモニタリングステーション※2で測定・監視しており、その測定値は宮城県および当社ホームページで公開しています。

発電所敷地内に設置してあるモニタリングポストの現在の測定値は、最大で0.065マイクロシーベルト/時程度で安定しており、健康に影響を与えるレベルではありません。



- ※1 モニタリングポストは発電所敷地周辺の環境放射線を測定しています。女川原子力発電所の敷地境界には6基のモニタリングポストが設置されており、その最小値と最大値について、東北地方太平洋沖地震の発生日の値、それ以降で最大値が測定された日(平成23年3月13日)の値、1年後、2年後、至近3カ月の値を掲載しています。
- ※2 モニタリングステーションは環境放射線に加えて気象データを測定しています。
- ※3 宮城県では、震災により測定不能となっているモニタリングステーションの代替として、可搬型モニタリングポストによる測定を行っています。
- ※4 東京電力福島第一原子力発電所からの放射性物質の放出に伴い測定されたもので、測定された時間は約10分間です。

### モニタリングポストの最小値と最大値

年	測定日	測定値 (マイクロシーベルト/時)
平成23年	3月11日	0.027~0.064
	3月13日	1.8~21※4
平成24年	4月1日	0.063~0.098
平成25年	4月1日	0.055~0.076
平成26年	5月1日	0.045~0.071
	6月1日	0.047~0.066
	7月1日	0.045~0.064
	7月31日	0.047~0.065

単位: マイクロシーベルト/時